

書記官

書記官

宮内大臣官房文書課官發第二六號

一月庶受五第三號

昭和五年一月十八日

宮内大臣一木喜徳郎



樞密院議長男爵倉富勇三郎殿

通牒

天皇 皇后兩陛下和子内親王殿下御同伴未
二十日 神奈川縣葉山ヨリ還御可被為在昔被仰
出候
一御發着割 別紙ノ通

宮内省

裏面白紙

御發著刻

一月二十日

午前九時五十分

全 十時十分

全 十一時三十分

還御

葉山御用邸御出門

逗子驛御發車

東京驛御著車

裏面白紙

属

昭和五年一月六日

書記官

書記官長

案

天皇 皇后兩陛下 和子内親王殿下御同
伴來二十日神奈川縣葉山より還御可被
為在旨被仰出御發着刻左記之通官内
大臣より通牒有之候間此段御通知申上候
也

昭和五年一月六日

樞密院書記官

樞密院

御發着刻

一月二十日

午前九時五十分

葉山御用邸御出門

同 十時十分

逗子驛御發車

同 十二時三十分

東京驛御着車

還御

○通知先(郵便)

正副議長、顧問官、書記官長、書記官(連座郵便)
鈴木、顧問官(宮内省)九鬼、顧問官(外務省)
石黒、右京顧問官(廣島) (普通郵便)
金子、田、所合顧問官(宮内省) (電話) (普通郵便)

天皇 皇后兩陛下和子內親王殿下御同伴來
二十日神奈川縣葉山ヨリ還御可被為在旨被仰
出御發著割左記之通宮内大臣ヨリ通牒有之候
間此段御通知申上候也

昭和五年一月十八日

樞密院書記官

御發著割

一月二十日

午前九時五十分	葉山御用邸御出門
同 十時 十分	逗子驛御發車
同 十一時二十五分	東京驛御著車
還御	